

3年選択英語(水5)Debateクラス

* 21世紀の国際社会においては自分の立場をはっきりとさせ、言うべきところでははっきりと正しい方法で自己主張・表現していく必要があります。これからさまざまな会議において話し合いの機会をもつでしょうが、そのとき主に次の3つのパターンが考えられます。①「Presentation & QA」 ②「Discussion」 ③「Debate」

①プレゼンテーション

自分で調査研究したことを他者に発表することです。これは一方的に自分の考え、意見、アイデアを発表するわけですのでかなりその人の考え（主観）が盛り込まれるわけです。その後の質疑応答で内容そのものが覆されることもあります。

例、上級学校調査、職場訪問での壁新聞のグループ発表など。。

②ディスカッション

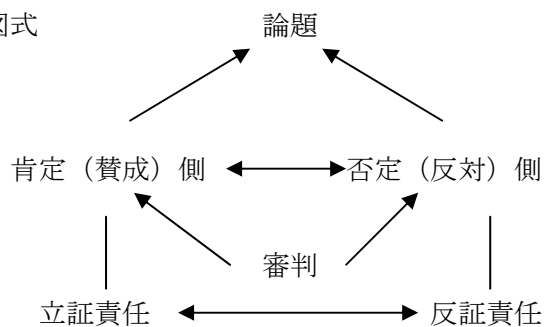
あるテーマやトピック、またはプレゼンテーションされた内容について司会者（パネラー、コーディネーター）をたてて質疑応答しながら問題点について、参加者が自分の意見を述べる。司会者は問題点を明らかにしながら話し合いが深まるようにする。

③ディベート

プレゼンテーションやディスカッションで質疑応答がくりかえさるなかで、考えをYes/Noのどちらかにしぼる。テーマは「～は～すべきである。」というかたちになり、それに対してすべきか、すべきでないか、で意見をまとめ意見の異なる人たちと議論しながらできるだけ相手側の意見を覆すように努力する。

特に、大切なのは客観的な意見を多用し、第三者がそれを審判してより正しいと思う方に賛同する。

図式





ディベートの種類 ①事実ディベート ②価値に関するディベート ③政策に関するディベート など、主に②の価値に関するディベートが学校では多い。



【ディベートの鉄則】



①主張するものは証明すべし

(下図参照)



②沈黙は同意を意味する



③建設的な議論をする

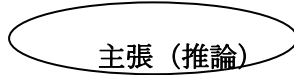


④人格と議論を切り離す

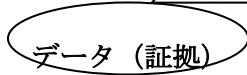


⑤意見と事実を切り離す

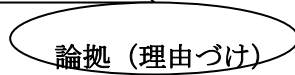
(図)



例、「自動車が来年値上がりする」



例、「自動車鉄鋼が過去1年で20%値上がりした事実ある」



例、「鉄鋼の値段は自動車の値段を決める要因である、過去鉄鋼の値上がりが自動車の値上がりをもたらしてきた」

(やり方)



肯定側立論。。。2分



否定側立論。。。2分



肯定側第一反駁。。1分



否定側第一反駁。。1分



肯定側第二反駁。。1分



否定側第二反駁。。1分



肯定側結論。。。1分



否定側結論。。。1分

(審判の意見と Judge。。2分)

